

## 事務事業計画書兼評価表(A表)

<b>1 事務事業に関する基本情報</b>				平成	25	年度
事業番号	259	事業名	がんばる農家プラン事業			
担当課	産業観光課	担当係	農業係			
総合計画に最も関連ある施策	施策	5	地域の個性を活かした魅力と活力のあるまちづくり	連絡先	76-0208	
	施策体系	1	農林水産業の振興	事業区分	□新規	
	主な事業	意欲的な農業者等が行う規模拡大や低コスト化などの取り組み支援			■継続	
予算区分	款	5	農林水産業費	事業実施主体	■八頭町	
	項	1	農業費		□その他	
	目	3	農業振興費	計画期間	開始	平成25年度
	事業	259	がんばる農家プラン事業		終了	平成27年度

### 2 事務事業の概要

事業の対象	誰(何)に対してこの事業を行うのか記載。 農業者、農業を営む法人、任意組織(構成員が10名以下)					
事業の目的	誰(何)をどうするためにこの事業を行うのか記載。 意欲的な農業者等が行う規模拡大や低コスト化などの取り組みを支援する。					
事業の内容	事業の規模や業務量などを具体的に記載。 農業者等が作成したプラン(営農計画)の達成のために行う取り組みに必要な経費を支援する。					
事業の手段	どのような方法、手順で事業を進めるのか、具体的に記載。 ①農業者等への事業の趣旨、目的等及びプラン作成の説明、②農業者等の計画作成に関する指導等(普及所と連携)、③プランの内容審査(町審査、県審査)、④補助金申請事務、⑤実施状況報告書の確認					
事業の成果到達点	どんな成果を得たいのか、または、何がどうなれば達成か、具体的に記載。 営農に係る規模拡大(4件)					
根拠法令等	4	1. 法令(義務) 2. 法令(任意) 3. 条例 4. 規則・要綱等 5. なし			法令等名→	がんばる農家プラン実施要領

### 3 活動指標、成果指標

活動指標		単位	事業の手段を図るものさし			
	A	人	事業対象者との面談等			
	B	回	審査会等の会議の開催			
	C					
	D					
成果指標		単位	事業の成果、到達点を図るものさし			
	A	人	事業実施者数			
	B					
	C					
	D					

### 4 コスト

区分	単位	23年度	24年度		25年度		26年度	27年度	
		実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	
活動指標	A	人				4	4	4	4
	B	回				4	4	4	4
	C								
	D								
成果指標	A	人				4	4	4	4
	B								
	C								
	D								
トータルコスト	千円	0	0	0	18,934	18,582	18,616	18,616	
担当職員数	人				0.2	0.2	0.2	0.2	
職員人件費	千円	0	0	0	1,600	1,600	1,600	1,600	
事業費	千円				17,334	16,982	17,016	17,016	
事業費財源内訳	国庫支出金(交付金・補助金)	千円							
	県支出金(交付金・補助金)	千円				11,556	11,322	11,344	11,344
	地方債(借入金)	千円							
	事業収入(使用料・参加費等)	千円							
	一般財源(単町費)	千円	0	0	0	5,778	5,660	5,672	5,672

## 事務事業計画書兼評価表(B表)

### 5 実施活動内容・成果(到達点)

平成 25 年度

<b>実施活動内容・成果(到達点)</b>	<p>実施活動内容(具体的に)</p> <p>4名の事業実施者が次の内容の事業を実施された。                  ①更なる農地保全を目指すため、コンバイン(4条刈)の購入し、広範囲の受託作業の面積拡大や早期コシヒカリの作付に取組み、作業の効率及び経営安定を図った。②ぶどう経営の安定を図るため、雨除けトンネル施設を導入し、美味しいぶどうになるよう土作りや新品種の開発及び販路拡大を図った。③コンバイン(4条刈)の購入し、水稻の作付拡大、米の個別販売の拡大を図り、又、利用権設定や作業受託に積極的に取組み地域貢献を行った。④「びっくりエリンギ」が発生しやすい環境状況の整備する機器類を導入し、エリンギの増産や新たな販路拡大を行い、経常利益の改善を図った。</p> <p>成果(具体的に)</p> <p>事業実施者の4名は、それぞれが掲げている3年後のプラン目標に向け、事業を実施された。</p>
-----------------------	---

### 6 事務事業の評価

評価項目	評価点	点数	チェックポイント	判断理由・評価コメント(具体的に記入のこと)
<b>必要性</b> (町民ニーズ)	20	20	①必要性が高い	農業者等の規模拡大等の支援がなされており、大変重要
		13	②どちらかと言えば必要性がある	
		7	③必要性が低い	
		0	④必要性がない	
<b>妥当性</b> (町が行わなければならないか)	13	20	①町が行わないといけない	県補助金交付要綱の規定により、町は間接補助事業者の為
		13	②どちらかと言えば町が実施	
		7	③妥当性が低い	
		0	④妥当性がない	
<b>効率性</b> (コスト削減の余地は無いか)	13	20	①効率的である	県の事業として実施しており、必要な事務を行っている
		13	②どちらかと言えば効率的である	
		7	③どちらかと言えば非効率的である	
		0	④非効率的である	
<b>緊急性</b> (他事業に優先し実施する必要があるか)	20	20	①緊急性が高い	継続的な営農意欲は、今後の農地保全等においても大変重要
		13	②比較的緊急性がある	
		7	③緊急性が低い	
		0	④緊急性がない	
<b>成果</b> (目的の達成状況)	20	20	①成果が上がっている	農業者等への営農支援ができています
		13	②どちらかと言えば上がっている	
		7	③どちらかと言えば上がっていない	
		0	④成果が上がっていない	

一次評価	事業の方向性	点数	評価点合計	判定に至った理由
<b>2</b>	1、拡充する	80点以上	<b>86</b>	県の事業に基づいて行っているのもであり、町の独自判断等で、拡充等は困難。
	2、現状維持	60～79点		
	3、改善・効率化し継続	50～59点	評価点による判定	
	4、見直しの上縮小する	40～49点		
	5、終期設定し終了	30～39点		
	6、休止	20～29点	<b>1</b>	
	7、廃止	19点以下		

二次評価	事業の方向性	判定説明・意見
<b>2</b>	1、拡充する	営農に係る規模拡大、雇用拡大、低コスト化を図るため、平成25年度から新規事業化されたものであり、県の補助金交付要綱の規定により行われるものであり、町は間接補助事業者である。事業実施者の4名は、それぞれが掲げている3年後のプラン目標に向け事業を実施されている。今後は、関係機関と連携した事業を実施し農業者が作成したプラン(営農計画)の達成のため取り組みを支援されたい。
	2、現状維持	
	3、改善・効率化し継続	
	4、見直しの上縮小する	
	5、終期設定し終了	
	6、休止	
	7、廃止	

### 7 課題及び今後の方向性

<b>課題</b>	<p>事業活動に当たり、一番の問題と捉えていること。重点的に手当てする事柄、改善点、工夫したい箇所</p> <p>事業を行っていく課程の実施者へ対しての問題や課題の支援。</p>
<b>今後の方向性</b>	<p>上記課題を解決していくため、次年度どんな活動を展開していくのか</p> <p>関係機関等と連携した事業実施。</p>